



糸に染まる季節

大西暢夫作 岩崎書店

「色には季節がある」という、染色家の岩田さんの不思議な言葉に引きつけられて、ぼくは、新潟県十日町市を訪れた。岩田さんはそこで、かいこのまゆから紡いだ糸である生糸や真綿糸を染める仕事をしている。ヨモギ、クルミなど、身近な野山で採れる旬の植物で草木染めにする。毎年、同じ時期に同じ材料を合わせても、決して同じ色にはならない。だから面白いと岩田さんは言う。糸が記憶する季節の色。それは、四季の移ろいに寄り添って生きる暮らしの中から生まれてくる。

